

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さぼーとハウス和音（保育所等訪問事業）		
○保護者評価実施期間	R8年3月5日		R8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27件	(回答者数) 20件
○従業者評価実施期間	R8年3月5日		R8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8件	(回答者数) 8件
○訪問先施設評価実施期間	R8年3月5日		R8年3月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10件	(回答者数) 10件
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月24日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士が常駐している。 PTやOTとの連携も取れる。	PVT-R等を行い、語彙検査を行うことで1つの指標と指定見ている	検査結果を伝えることで現状や成長を知ることが出来るのではないかと
2	同じ職員が行くことで信頼関係を作っていくやすい。		専門的な職員とも一緒に行くことで、新たな方向性を見つけていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験者不足。	課題があることで、移行が難しい。	マニュアルや流れを作っていくことで、新人育成を行っている。一緒に行くことで、訪問支援をしっていく。
2	保育所等訪問支援の必要性や、学校や保育所・幼稚園への理解の不十分さ	事業所の職員の異動や、担任の異動などもあり、知っている職員が必ずしも行っているわけではない。	保育所等訪問支援の理解がまだ定着していないので、年度の初回にしっかりと説明をしていく。
3			